

月日	支出 書 番号	摘 要	収入額	支払額	残額	費 目												
						研修会・ 会議費	資料購入及 び作成費	広報費	使用料及 び借上料	通信運搬費	旅費及び 交通費	事務雑費	会派共用費					
6	7	0001	政務活動費 (5月~6月)	140,000		140,000												
6	7	0002	会派共用費 (5月~6月)		60,000	80,000												60,000
6	25	0003	新聞代 (産経新聞) 6月分		4,200	75,800		4,200										
7	14	0004	政務活動費 (7月~9月)	210,000		285,800												
7	14	0005	会派共用費 (7月~9月)		90,000	195,800												90,000
7	10	0006	研修会交通費 (8月1日・2日)		28,780	167,020						28,780						
8	4	0007	研修会参加費 (8月1日・2日)		30,000	137,020	30,000											
8	4	0008	研修会宿泊費 (8月1日・2日)		12,600	124,420						12,600						
10	13	0009	政務活動費 (10月~12月)	210,000		334,420												
10	13	0010	会派共用費 (10月~12月)		90,000	244,420												90,000
1	15	0011	政務活動費 (1月~3月)	210,000		454,420												
1	15	0012	会派共用費 (1月~3月)		90,000	364,420												90,000
		0013				364,420												
		0014				364,420												
		0015				364,420												
		0016				364,420												
		0017				364,420												
		0018				364,420												
		0019				364,420												
		0020				364,420												

預金利息	0
------	---

合 計	30,000	4,200	0	0	0	41,380	0	330,000	405,580
-----	--------	-------	---	---	---	--------	---	---------	---------

日付: 2024年3月28日 議員名: 湯峯 佳代子

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 2

会 派 名	公明党議員団	令和5年6月7日 発行
		令和5年度
議 員 名	湯峯 佳代子	費 目 会派共用費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	6	0	0	0	0

ただし

会派共用費（5月～6月）

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額（上限額がある場合その額）

円

支払い額

按分率

円 × / = 円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名（ ）

様式第2号

会派共用費領収書

令和 5年 6月 7日

議員名 湯峯佳代子 様

会派名 公明党議員団

代表者 吉田章浩



下記のとおり会派共用費として受領しました。

記

受領した額 60,000 円

その内訳 令和 5年 5月分から令和 5年 6月分まで

以上

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 3

会 派 名	公明党議員団	令和5年6月25日 発行
		令和5年度
議 員 名	湯峯 佳代子	費 目 資料購入及び作成費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額			¥	4	2	0	0

ただし

新聞代 (産経新聞) 6月分

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)

円

支払い額

按分率

円 × / =

円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名 (

(参考様式)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

支出書番号

3

2023年06月分

領 収 証

No. [REDACTED]

高槻市 [REDACTED]

産経新聞

湯峯 佳代子 様

銘 柄	部	金額(税込)
産経朝刊※	1	4,200
合 計		¥ 4,200
※は軽減税率対象品目 (内消費税等¥311)		

お知らせ

自動引落・クレジット
払い申込み受付中

毎度ご購入有難うございます。
左記の通り領収致しました。

8%対象 ¥4,200
(消費税 ¥311)

産経新聞 高槻中央販売所



高槻市登町15-20
TEL: 072-674-5029



領 収 証

2023年06月分

No. [REDACTED]

湯峯 佳代子 様

銘 柄	部	金 額
毎日新聞※	1	4,900
合 計		¥ 4,900
※は軽減税率対象品目 (内消費税等¥362)		

お知らせ 領収日 5年6月25日

銀行・郵便局・農協の自動振替
クレジット・コンビニ払もOK

毎度ご購入有難うございます。
上記の通り領収致しました。

8%対象 ¥4,900
(消費税 ¥362)

毎日新聞 日本経済新聞 下田部販売所

〒569-0046 高槻市登町15-21
TEL: 072-674-5027 FAX: 072-674-5037



LINE登録すると・美術館招待券のお知らせ
・留守止めの受付・その他お得な情報色々

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 5

会 派 名	公明党議員団	令和5年7月14日 発行
		令和5年度
議 員 名	湯峯 佳代子	費 目 会派共用費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	9	0	0	0	0

ただし

会派共用費（7月～9月）

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額（上限額がある場合その額）

円

支払い額

按分率

円 ×

/

=

円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名（ ）

様式第2号

会派共用費領収書

令和 5年 7月 14日

議員名 湯峯佳代子 様

会派名 公明党議員団

代表者 吉田章浩



印

下記のとおり会派共用費として受領しました。

記

受領した額 90,000 円

その内訳 令和 5年 7月分から令和 5年 9月分まで

以上

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 6

会 派 名	公明党議員団	令和5年7月10日 発行					
		令和5年度					
議 員 名	湯峯 佳代子	費 目 旅費及び交通費					
下記の金額を支出する。							
	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	2	8	7	8	0
ただし							
研修会交通費 (8月1日・2日)							
備 考							
・按分による場合		政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)					
		円					
支払い額		按分率					
円 ×		/		= 円			
・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。							
・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。							
図書名 (

(参考様式)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

支出書番号

6

領 収 書 湯峯佳代子 様

Receipt

領収年月日

2023.-7.10

金額

¥28,780 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品

JR乗車券類 JR tickets

(

4枚)

西日本旅客鉄道株式会社

高槻駅

高槻駅F3発行

30318-02

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

6

様式第11号 (その1)

出張実施簿 (管外)

令和5年8月4日

高槻市議会議長様

議員名 湯峯佳代子



下記のとおり出張したので報告します。

出張の期間	令和5年8月1日(火)～令和5年8月2日(水)		
出張先	東京都千代田区九段南4-8-13 自動車会館ビル		
出張の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会・会議 <input type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> その他 () <small>*いずれかに○を付けてください。また、その他の場合は、その内容を記入してください。</small>		
旅費額	交通費	宿泊料	合計額
	28780 円	12600 円	41380 円
参加費等その他必要な経費	30000		円
費用総額	71380		円

* 参考となる書類があれば、添付して下さい。

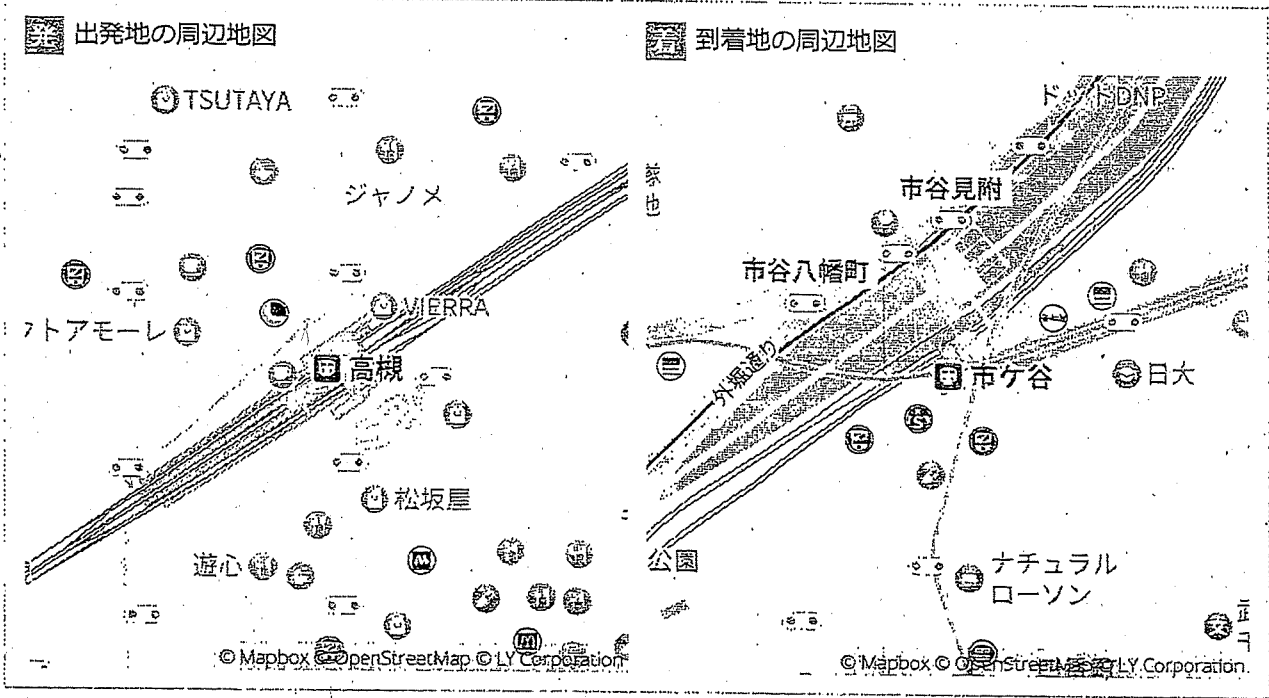
高槻→市ヶ谷 2023年08月01日(火)08:04出発

08:04発→11:12着 3時間8分(乗車2時間37分)

乗換：3回 541km

IC優先：14,390円 (乗車券8,580円 特別料金5,810円)

08:04	高槻	乗車位置：中/後[12両]
	J R 京都線新快速・米原行 [発] 1番線 → [着] 0番線	8,580円
08:16着 08:30発	京都	
4駅	J R 新幹線のぞみ78号・東京行 [発] 11番線 → [着] 16番線	指定席：5,810円
10:45着 11:01発	東京	乗車位置：前/中/後[10両]
2駅	J R 中央線快速・豊田行 [発] 2番線 → [着] 1番線	
11:05着 11:06発	御茶ノ水	
3駅	J R 総武線・中野行 [発] 2番線 → [着] 1番線	
11:12	市ヶ谷	



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

市ヶ谷→東京→高槻 2023年08月02日(水)14:45出発

15:26発→18:41着 3時間15分(乗車2時間41分)

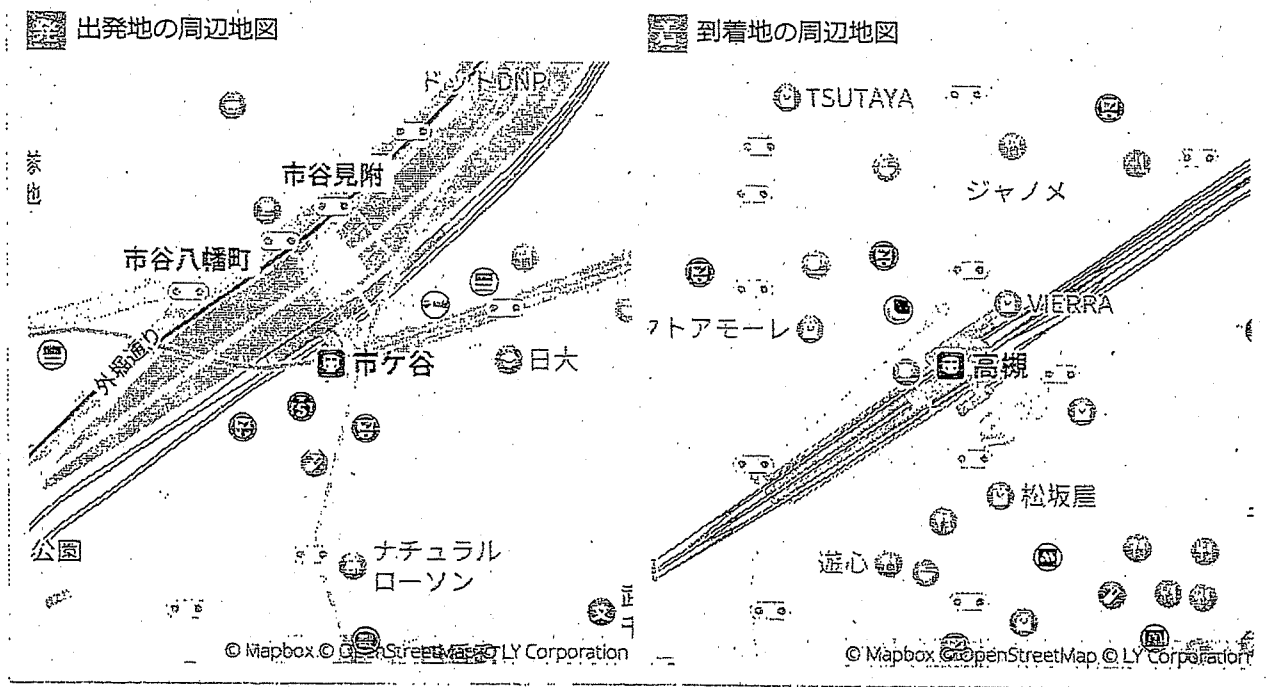


乗換: 3回

541.3km

IC優先: 14,390円 (乗車券8,580円 特別料金5,810円)

15:26	市ヶ谷	乗車位置: 前/中[10両]
4駅	JR総武線・千葉行 [発] 2番線 → [着] 6番線	8,580円
15:36着 15:40発	秋葉原	乗車位置: 前/中/後[10両]
2駅	JR京浜東北・根岸線・大船行 [発] 4番線 → [着] 6番線	
15:44着 16:00発	東京	
4駅	JR新幹線のぞみ237号・新大阪行 [発] 16番線 → [着] 14番線	指定席: 5,810円
18:15着 18:29発	京都	
	JR京都線新快速・網干行 [発] 6番線 → [着] 6番線	
18:41	高槻	



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 7

会 派 名	公明党議員団	令和5年8月4日 発行
		令和5年度
議 員 名	湯峯 佳代子	費 目 研修会・会議費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	3	0	0	0	0

ただし

研修会参加費 (8月1日・2日)

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)

円

支払い額

按分率

円 ×

/ =

円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名 (

(参考様式)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

支出書番号

7

領 収 証

湯峯 隆代子 様

No.

★ ¥ 30,000.-

但 第13期自治政策講座 in 東京 受講料として

2023年 8月 / 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コクサ 974-1097

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン第2号

自治体議会政策
会長 竹下



参考様式

政務活動実施報告書

令和 5 年 8 月 4 日

(宛先)高槻市議会議長

議員名 湯峯佳代子



(又は会派名及び代表者名)

下記のとおり実施したので報告します。

実施日時	令和 5 年 8 月 1 日(火)～令和 5 年 8 月 2 日(水) 1日 13時00分～16時20分 2日 10時00分～14時30分
実施場所	東京都千代田区九段南 4-8-13 自動車会館ビル
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会・会議 (参加者 人) <input type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> その他 () *いずれかにチェックを付けてください。また、「その他」の場合は、その内容を記入してください。
活動の概要	別紙参照

*参考となる書類があれば、添付して下さい。

公明党議員団研修報告書（吉田章浩・宮田俊治・湯峯佳代子）

研修名 「これからの社会に備える自治体の課題」

日時 8月1日（火）～8月2日（水）

場所 東京都千代田区九段南 4-8-13 自動車会館

研修テーマ

8月1日（火）

第1講義 巨大災害に備える防災・減災—関東大震災の復興の歴史から学ぶ

第2講義 行政のDX推進と自治体の課題

8月2日（水）

第3講義 少子化に挑む「子どもにやさしいまちづくり」

第4講義 全国初の政策づくりにみる—市民自治を育むまちづくり

研修内容

第1講義 巨大災害に備える防災・減災—関東大震災の復興の歴史から学ぶ

- ・ 関東大震災と近年の大震災との震災規模や経済被害の比較
- ・ 関東大震災後の帝都復興事業についての詳細
- ・ 帝都復興事業と戦後の戦災地復興計画との違いを通して、現代の問題にどのように取り組み地震に強い街を作っていくか

第2講義 行政のDX推進と自治体の課題

- ・ 自治体とDXについて
 - 取り巻く時代的環境
 - ・・・DXへの不可逆的な流れと society5.0 時代に求められる普遍的な価値（デジタル社会の形成が「持続可能性」「ウェルビーイング」といった普遍的な理念・価値と接続）
 - ここ20年の変遷と現在
 - ・・・国によるデジタル関連の法整備と自治立法による対応（個人情報保護制度の共通ルール化、独自条例の制定など）
 - デジタル田園都市国家構想の動き・地域創生
 - ・・・国の施策の“転換”と自治体の実装
 - 重要なのはトランスフォーメーション
 - ・・・求められる変容（トランスフォーメーション）と機敏（アジャイル）な行政
- ・ デジタルを手段として社会を変革していく

第3講義 少子化に挑む「子どもにやさしいまち・づくり」

- ・ 子どもの基本法・子ども家庭庁への期待
 - 失われた30年を経てはじめて子どもの権利条約に対応した包括的基本法
- ・ 将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発の中で子どもの問題と持続可能性への課題
 - 子ども施策に対する子ども等の意見の反映
 - 子ども参画を具体的には示されていない
 - 子ども施策に係る支援の総合的かつ一体的な提供のための体制の整備
 - 人を育てるのは家庭だけではない
- ・ 子どもにやさしいまち (child Friendly Cities) づくりの9つの原則
 - ① 子ども参画
 - ② 子どもに優しい法的枠組み
 - ③ 子どもの権利保障する施策
 - ④ 子どもの権利の部門または調整機構
 - ⑤ 子どもへの影響評価
 - ⑥ 子どもに関する予算
 - ⑦ 子どもの報告書の定常的発行
 - ⑧ 子どもの権利の広報
 - ⑨ 子どものための独自の活動
- ・ 日本ユニセフ協会の子どもにやさしいまちづくり事業 (CFCI) 日本での展開
 - 2009・4 第一回アジアパシフィック地域 CFC 国際会議参加
 - ↓
 - 2011～2017 東日本大震災被災地での支援の取り組み
 - ↓
 - 2015・8 全国地方自治体へのアンケート送付
 - ↓
 - 2016・11 CFCI シンポジウムの実施
 - ↓
 - 2016・11～ CFCI 連絡会・CFCI 作業部会発足
 - ↓
 - 2018・10～ CFCI 検証作業 5自治体で開始
 - ↓
 - 2020.10 検証作業終了
- ・ モデル検証作業参加自治体・・・ニセコ町・安平町・富谷市・町田市・奈良市

7

・何が見えてきたか

- 庁内横断的な体制が求められる
- チェックリストがPDCAのツールになる
- 自治体の連携・日本ユニセフ協会、専門家等とのパートナーシップ
- こどもの権利の重要性を再認識

第4講義 全国初の政策づくりにみる—市民自治を育むまちづくり

・考える視点

- 令和という時代に地方自治は何をなすべきか（昭和22年につくられた地方自治法と令和の時代）
 - 未完の地方分権（市民参加）
 - 公共の変容・自治体の政策対象の広がり（公私二分論から新たに公共を担う市民のコミュニティ）
 - 国と地方は同じなのか（国ではできないこと+地方ならではの強みを発揮する“励ます地方自治”）
- ・自治経営者は何をすべきか
- 新しい公共領域の施策（私的自治・自助にはゆだねられない、放置しておくわけにはいかない）



第1講義 巨大災害に備える防災・減災—関東大震災の復興の歴史から学ぶ

災害後の復興に際し自治体が理念とするところを学んだ。町は市民の住みやすさ優先が大切でそのような街にこそ市民の連帯意識が生まれ共助の心もはぐくまれるのだとの言葉が印象に残った。

第2講義 行政のDX推進と自治体の課題

変容（トランスフォーメーション）と機敏（アジャイル）な行政が求められる中、デジタルを手段として使いこなし施策に役立つ提案ができるよう課題をしっかりと整理していく。

第3講義 少子化に挑む「子どもにやさしいまちづくり」

自分の市が子どもにやさしいまちづくりの為、何を指すのかをよく理解しながら具体的な提案をするためにさらに学んでいく。

第4講義 全国初の政策づくりにみる—市民自治を育むまちづくり

公共の変容についてこれまでの私的領域、公共領域の公私二分論に加えて新たなコミュニティとしての公共領域の施策が求められるとの講義の中に日頃実感している事がすべて含まれていたように思う。

「支える人を支える施策」との言葉に現場の状況を変えていけるヒントがあるように思った。

以上

修了証書

高槻市議会

湯峯 佳代子 殿

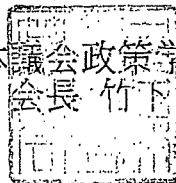
あなたは、自治体議会政策学会の主催による
下記の講座を修了したことを証します。

2023年 第23期 自治政策講座 in 東京
これからの社会に備える自治体の課題

講座	開催日	講座名 / 講師
第1講義	8/1 (火)	巨大災害に備える防災・減災 —関東大震災の復興の歴史から学ぶ— 武村 雅之 名古屋大学減災連携研究センター教授
第2講義	8/1 (火)	行政のDX推進と自治体の課題 大杉 覚 東京都立大学法学部教授
第3講義	8/2 (水)	少子化に挑む「子どもにやさしいまちづくり」 木下 勇 大妻女子大学教授・千葉大学名誉教授
第4講義	8/2 (水)	先進政策のヒント 行政・議会・市民が取り組むべきこと —令和時代の地方自治・未完の地方分権改革を越えて— 松下 啓一 地方自治研究者・政策起業家・元相模女子大学教授

令和5年 8月 2日

自治体議会政策学会
会長 竹下 謙



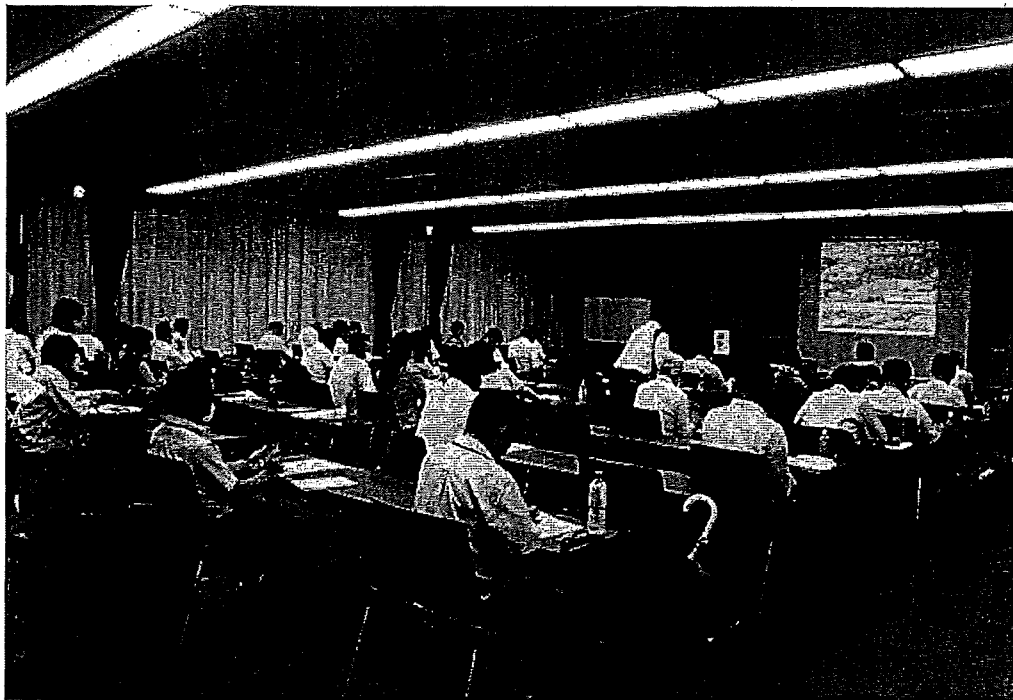
第23期自治政策講座in東京

更新日: 6日前

「これからの社会に備える自治体の課題」

日時: 2023年8月1日(火)・2日(水)

場所: 自動車会館(東京都千代田区) <アクセス>



たくさんのご参加ありがとうございました。

COVID-19新型コロナパンデミックの終息の兆しが見えるなか、日本でも5類のインフルエンザ並の対応となりました。

3年間続いたコロナ禍の社会経済の閉塞状況を乗り越え、社会活動が活発化するにつれ、改めて注目されるのは地球温暖化の加速、多発する地震や自然災害の激甚化、そして人口減少や少子化の加速、デジタル化の進展が著しい状況です。

これらの課題に取り組む自治体議会には、これからの自治・地域を構想し、何が起きているのか見極め、地域の住民に説明し、ともに解決していくことが求められています。

「これからの社会に備える自治体の課題」に応えるため、今回の講座では、震災対策・デジタル化・少子化対策・政策づくりなどのテーマを取り上げ、各課題に著名な講師にご協力いただきます。対面方式の講座です。ご参加ください。

プログラム

8月1日(火) 13:00~16:20

第1講義 巨大災害に備える防災・減災—関東大震災の復興の歴史から学ぶ
武村 雅之 名古屋大学減災連携研究センター教授

本年は1923年の関東大震災から100年目となる。いつ発生してもおかしくないと言われて久しい「首都直下地震」や「南海トラフ」をはじめとする巨大災害に対し、30年間、関東大震災の震源、被害から復興過程に至るまで、真相解明に取り組んできた研究の第一人者である講師が、今、何を自覚して備えるべきかを説く。

第2講義 行政のDX推進と自治体の課題
太杉 寛 東京都立大学法学部教授

自治体はデジタル社会の形成に主要な担い手とされる。法整備を含め条例制定などの流れを紹介。問われるのはデジタル技術によるだけでなく、どのような未来社会を形づくるのか。スマート自治体にふさわしい持続可能性・ウェルビーイングなど普遍的理念・価値を基盤とした取組みのポイントを解説。

8月2日（水）10：00～14：30

第3講義 少子化に挑む「子どもにやさしいまちづくり」
木下 勇 大妻女子大学教授・千葉大学名誉教授

少子化対策と言いながら、虐待や不登校、子どもの自殺は過去最多を更新している。コロナ禍の長期化も含め子どもが生きづらい社会になっている原因はなにか。今、ユニセフ子どもにやさしいまちづくり事業が日本の自治体でも取り組まれはじめた。遊びを大切に子ども参画のまちづくりを実践する講師が自治体の役割を説く。

第4講義 全国初の政策づくりにみる—市民自治を育むまちづくり
松下 啓二 地方自治研究者・政策起業家・元相模女子大学教授

全国初の政策はどのように作られたのか。市民・議会・行政が一体となって「まち」のプライドを創り出す実践。まちの明日を考え、未来を創ろうとする地域はどのように醸成され、誰が担うのか。自治体行政や議会にも問われていることは市民自治を育むまちづくり。市民と進める政策づくりを考える。

受講料

- 講座2日間 ￥30,000—
- 講座1日のみ ￥20,000—

お申込み方法

1. 下記リンクより「申込用紙」をダウンロードしてください。または、フォームよりお申込みください。
2. 申込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
3. お申込み確認後に「受講確認票」を郵送いたします。(3～14日以内)
4. 「受講確認票」に従って受講料をお振込みください。

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 8

会 派 名	公明党議員団	令和5年8月4日 発行
		令和5年度
議 員 名	湯峯 佳代子	費 目 旅費及び交通費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	1	2	6	0	0

ただし

研修会宿泊費 (8月1日・2日)

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)
円

支払い額 按分率
円 × / = 円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名 (

8

領 収 証

ホテル グランドヒル市ヶ谷

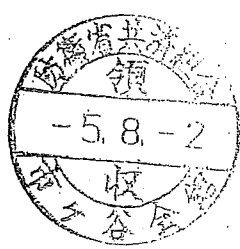
市ヶ谷会館

〒162-0845東京都新宿区市谷本村町4番1号
TEL.03-3268-0111(代)

お名前
GuestName 湯峯 佳代子 様

お部屋番号 ROOM No.	ご人数 PERSON	泊数 NTS	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	No.
1463	1	1	2023/08/01	2023/08/02	2023/08/02 08:56	454589-0-0

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘 要 EXPLANATION	料金 CHARGE	お支払 CREDIT
08/01	1463	室 料	12,500	
08/01	1463	宿 泊 税	100	
		(10.0% 合計	¥12,500 内消費税	¥1,136)



12,600 0

差引ご請求金額 BALANCE DUE PD 12,600

ご署名
SIGNATURE

ご請求先
COMPANY

ご請求先住所
ADDRESS

印紙税法
第5条の規定
により収入
印紙貼用せず

ご利用いただきましてありがとうございます。
またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you very much for your patronage.
May we have the pleasure of serving again.

※取引銀行 みずほ銀行 東京営業部
口座番号 普通 4750929
口座名 防衛省共済組合市ヶ谷会館所属所

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 10

会 派 名	公明党議員団	令和5年10月13日 発行
		令和5年度
議 員 名	湯峯 佳代子	費 目 会派共用費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	9	0	0	0	0

ただし

会派共用費 (10月~12月)

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)

円

支払い額

按分率

円 × / =

円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名 (

様式第2号

会派共用費領収書

令和 5 年 10 月 13 日

議員名 湯峯佳代子 様

会派名 公明党議員団

代表者 吉田 章浩



下記のとおり会派共用費として受領しました。

記

受領した額 90,000 円

その内訳 令和 5 年 10 月分から令和 5 年 12 月分まで

以上

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 12

会 派 名	公明党議員団	令和6年1月15日 発行
		令和5年度
議 員 名	湯峯 佳代子	費 目 会派共用費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	9	0	0	0	0

ただし

会派共用費 (1月~3月)

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)

円

支払い額

按分率

円 ×

/

=

円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名 (

様式第2号

会派共用費領収書

令和6年1月15日

議員名 湯峯佳代子 様

会派名 公明党議員団

代表者 吉田 章浩



下記のとおり会派共用費として受領しました。

記

受領した額 90,000 円

その内訳 令和6年1月分から令和6年3月分まで

以上